

当会会員の「(株)池田熱処理」が、
2020年10月1日付の日刊工業新聞に紹介されました。

池田熱処理工業

小田 裕一さん

1984年4月、工業は61年に創業。設立当初から高周波誘導後、すぐに現在の池田熱処理工業（札幌市東区）へ入社した。以来、足かけ37年。小田裕一さん（55）の仕事を、一貫して各種機械部品の熱処理加工だ。その中でも生産性が際立って高い一方、卓越した経験と技術力が求められる「高周波焼入れ」をマスターしてきた。今では日本全国でも指折りの技能者となった。

所属する池田熱処理

キラリ技！
マイスター 13

火色を見る目視力評価

全国でも指折りの技能者



いよいよ高周波焼き入れの本番

「火に入れる鋼がどう使われるのか、そのためにどんな加工をするのか、内容次第で焼く温度も時間も異なる。温度計はもちろんあるが、それを当てにすると微妙に結果が違ってくる」。火色を見る目視力だ。

経験に裏付けられた目視力が高い評価を受け、札幌商工会議所による17年度ものづくりスペシャリスト・最優秀賞（ものづくり熟練部門）に輝いた。小田さんの力が名実ともに北海道を代表することが認められた受賞だ。

（札幌・市川徹）
（木曜日掲載）

当会では日刊工業新聞と連携し、会員企業の取組を全国発信しています。